Installation Procedure

コーナー保護材（ソフトタイプ）

セフティーコーナーSFT-55

施工要領書

2007年9月

ナカ工業株式会社
NAKA CORPORATION

目次

１．概要　・・・・・・・・・・・・１

２．施工を行う上での注意点　・・・・・・・・・・・・１

３．使用部品一覧表　・・・・・・・・・・・・２

４．施工用工具　・・・・・・・・・・・・３

５．施工要領　・・・・・・・・・・・・４

５－１．施工前確認　・・・・・・・・・・・・４

（１）部材の確認　・・・・・・・・・・・・４

（２）現場状況の確認　・・・・・・・・・・・・４

５－２．施工手順　・・・・・・・・・・・・４

（１）笠木、笠受けの切断　・・・・・・・・・・・・４

（２）笠木受への下穴加工　・・・・・・・・・・・・５

（３）壁面への下穴加工　・・・・・・・・・・・・６

（４）笠木受けの固定　・・・・・・・・・・・・７

（５）エンドガードの取付　・・・・・・・・・・・・７

（６）笠木の取付　・・・・・・・・・・・・８

（７）笠木とエンドガードの接着固定　・・・・・・・・・・・・９

（８）エンドキャップの取付　・・・・・・・・・・・・９

（９）清掃　・・・・・・・・・・・・１０

（１０）自主検査　・・・・・・・・・・・・１１

（１１）施工完了　・・・・・・・・・・・・１２

１．概要

本施工要領書は、セフティーコーナーSFT-55 について、製品本来の性能が十分発揮されるよう、施工を正しく行ってもらうために作成したものです。

セフティーコーナーSFT-55 に用いられる笠木は、硬質タイプの NS-76，NS-50，NT1-50，NT2-50 と違い、軟質タイプを特徴とした製品のため、硬質タイプの施工方法と若干異なりますので注意願います。

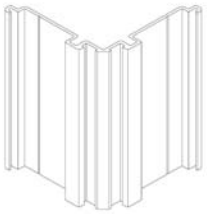
本製品はアルミ製の笠木受けに、軟質樹脂材料の笠木を嵌合する仕様ですが、笠木の取り扱いについては特に注意し、表面に傷を付けないよう配慮願います。

２．施工を行う上での注意点

施工を行う際には、次の点に十分注意願います。

- 笠木を現場内に置く場合はシートまたは養生紙等を敷き、その上に製品を置いてください。
- 仕上がっている壁・床・天井等を傷つけたり、汚したりしないように注意してください。
- 笠木を扱う際には、極端に折り曲げないように注意してください。
- 笠木、笠木受けを現場切断する場合は事前に試し切りを行い、製品に対して直角に切断されているか確認してください。
  ※　直角に切断できていない場合は切断機の調整を行って下さい
- 笠木とエンドガードとの接着面は、必ず清掃して、ゴミ・埃を取り除いてください。油が付着している場合は、アルコール等で脱脂してください。
- 笠木の清掃にシンナー・トルエンは絶対に使用しないでください。
- 笠木とエンドガードを接着する際、接着剤の使用方法を良く読んで接着してください
- 施工完了後は必ず作業場・取付場所等の清掃を行ってください。

３．使用部品一覧表

No	部品名称	部品形状	材料	数量/箇所	備考
1	笠木		表層:軟質塩ビ （硬度90°程度） 内部層:軟質塩ビ （硬度60°程度） 抗菌剤入り	1本	
2	笠木受け		アルミ押出形材 A6063S-T5	1本	
3	エンドキャップ		ASA樹脂	標準仕様 1個 ｵﾌﾟｼｮﾝ仕様 2個	
4	エンドガード		ASA樹脂	2個	
5	十字穴付きﾅﾍﾞﾀｯﾋﾟﾝ 2種 呼び4×10		SWRM相当 めっき品	4個	エンドガード の固定用
6	瞬間接着剤	㈱アルテコ	CN6 （粘度1000mPa･s）	－	笠木の 接着固定用

※　その他に現場の壁仕様に合わせた笠木受け固定用のビス類が必要になります。

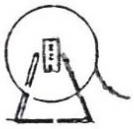
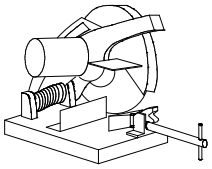
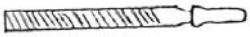
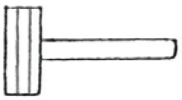
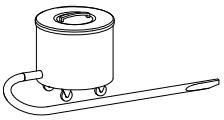
・軽鉄下地の場合は呼び４のﾅﾍﾞ頭ビスとします。

※　エンドキャップの数量は仕様により異なります。

・標準仕様　：上端に１個エンドキャップ取付

・ｵﾌﾟｼｮﾝ仕様：上端・下端に各１個エンドキャップ取付

４．施工用工具

No	名称	工具姿図	用途
1	巻尺、コンベックス		寸法測定
2	ドラム、延長コード		電源と取付場所の延長
3	高速切断機		笠木、笠木受け切断 （アルミ切断可能な物）
4	ヤスリ		笠木のバリ取り等
5	墨出し道具（鉛筆等）		穴あけ位置をマーク
6	電気ドリル		穴あけ（下穴）
7	振動ドリル		穴あけ（下穴） コンクリートの場合
8	電動ドライバー		ビスの締付
9	ゴムハンマー		
10	ウエス		笠木の清掃、中性洗剤払拭
11	清掃用品 （掃除機、アルコール、 中性洗剤等）		作業場の清掃
12	嵌合治具 （ﾊﾝﾄﾞﾛｰﾗｰ状のもの）		笠木・笠木受の嵌合治具

５．施工要領

５－１．施工前確認

（１）部材の確認

① 笠木の色、数量、長さを確認してください。

② 笠木受けの数量、長さを確認してください。

③ エンドキャップ、エンドガードの色・数量を確認してください。

④ 指定のビス、接着剤、及び施工用工具の品揃えを確認してください。

（２）現場状況の確認

① 施工図と現場の状態が異なっていないか確認してください。

② 壁裏に補強材（スタッド等）が入っているか確認してください。

☆ 下地補強仕様の現場において補強材の有無を確認し、万が一補強が入っていない場合は現場担当者と打ち合わせの上、施工を中止してください。

５－２．施工手順

（１）笠木、笠木受けの切断（必要に応じて）

① 笠木、笠木受けが長い場合は、不要な部分を切断してください。

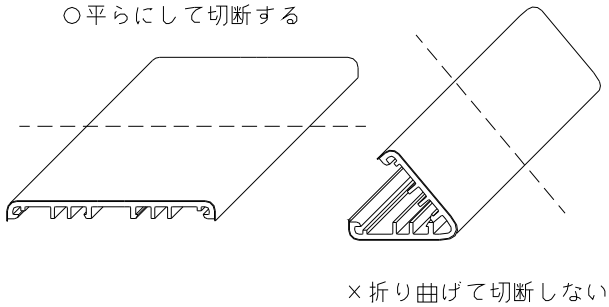
⚠ 笠木は笠木受けよりも 1mm長いので注意してください。

笠木の切断寸法：笠木受け長さ+１ｍｍ

笠木の切断寸法：笠木長さをＡとすると
Ａ から Ａ +(Ａ×0.5%) が切断許容差。

＜例＞ Ａ＝1000ｍｍの場合、笠木長さは
1000ｍｍから 1005ｍｍの範囲で切断

⚠ 笠木を切断する際には、折り曲げて切断せず、平らにして切断してください。

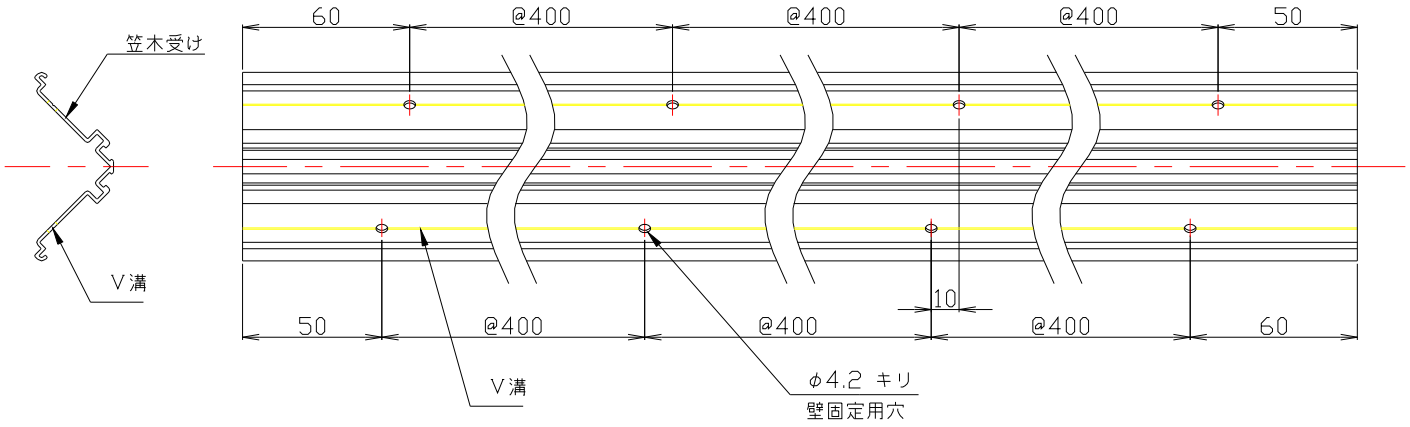


⚠ 笠木下端部はエンドカバーが取り付かない仕様のため、切断時に有害なバリが発生した場合は必ず取り除いて下さい。

（２）笠木受けの下穴加工

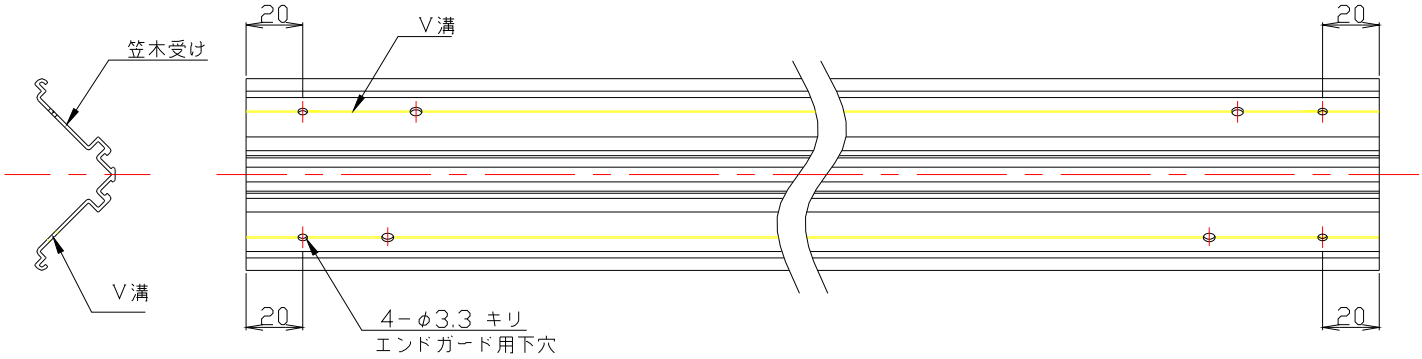
① 壁固定ビス用（呼び 4）の穴を笠木受けにあけます。**（穴径：φ4.2）**

ビス同士が壁裏でぶつからないように 10mm ズラし、約 400mm の取付ピッチとします。Ｖ溝を目安に穴をあけてください。



② エンドガード取付用の下穴を 4 箇所あけます。**（穴径：φ3.3）**

穴あけ位置は笠木受け両端部から 20mm の位置とし、Ｖ溝を目安にして下さい。



（３）壁面の下穴加工

① 笠木受けを壁面取付位置にあてがって、壁面に下穴位置をケガキます。

⚠ 巾木がある場合は、笠木受け下端と巾木の間に３．５ｍｍの隙間が必要になるため、エンドガードを笠木受け下端に仮置きしておくと位置決めが正確になります。

＜上端＞

＜下端＞

② 躯体に応じた下穴をあけてください。下穴径は現場の壁仕様によって決定されたビス仕様に合わせて設定して下さい。

※ 軽鉄下地（スタッド）に固定する場合：

十字穴付きなべタッピン 呼び４・・・・・下穴φ2.5 以下

（４）笠木受けの固定

① 現場の壁仕様によって決定されたビスで、笠木受けを壁面に固定します。

（５）エンドガードの取付（上端、下端に各１個）

① 笠木受けとエンドガードをビスで固定します。

使用ビス：十字穴付きナベタッピン　呼び 4×10 2 種・・・・計 4 本

⚠ ・エンドガードは笠木受けに密着させて固定して下さい。
・壁面がクロス貼りの場合、クロスがネジで巻き込まないよう、あらかじめクロスに下穴をあけておいてください。

＜上端＞

＜下端＞

（６）笠木の取付

① 笠木中心部の引っかけ爪部分から先に嵌合していき、笠木受け上下端部を揃えて上から下まで全体を仮嵌合します。（※両側引っかけ部はまだ嵌合しない）

（この状態であれば、上下両端部を揃えるために笠木を多少移動することができるため、最初は左の写真のように目で嵌合状態を確認してから、爪部を上から順に嵌合していくと良い。また、上から下まで一気に嵌合するよりも、上部途中まで嵌合したら、下部から端部を揃えるように嵌合していき、最後に中心部でなじませると端部位置を合わせやすい。）

② 施工治具（下の写真のようなハンドローラー）を転がしながら、笠木両側引っかけ部を片方ずつ嵌合します。その際に笠木全体の中心部分から上下になじませるようにしてください。

⚠ あとの作業で笠木上端・下端とエンドガードを接着固定するので、笠木上端・下端部を嵌合せずにしておくと、あとの接着作業がスムーズになります。

（７）笠木とエンドガードの接着固定

笠木受上下端部に取り付けたエンドガード表面に指定の接着剤を塗布し、すぐに再嵌合して、接着部分を押さえてください。（１５秒以上)。

瞬間接着剤：㈱アルデコ　ＣＮ６

（８）エンドキャップ取付（上端１個）

エンドキャップの爪部分をエンドガードの角穴に差し込み、嵌合します。

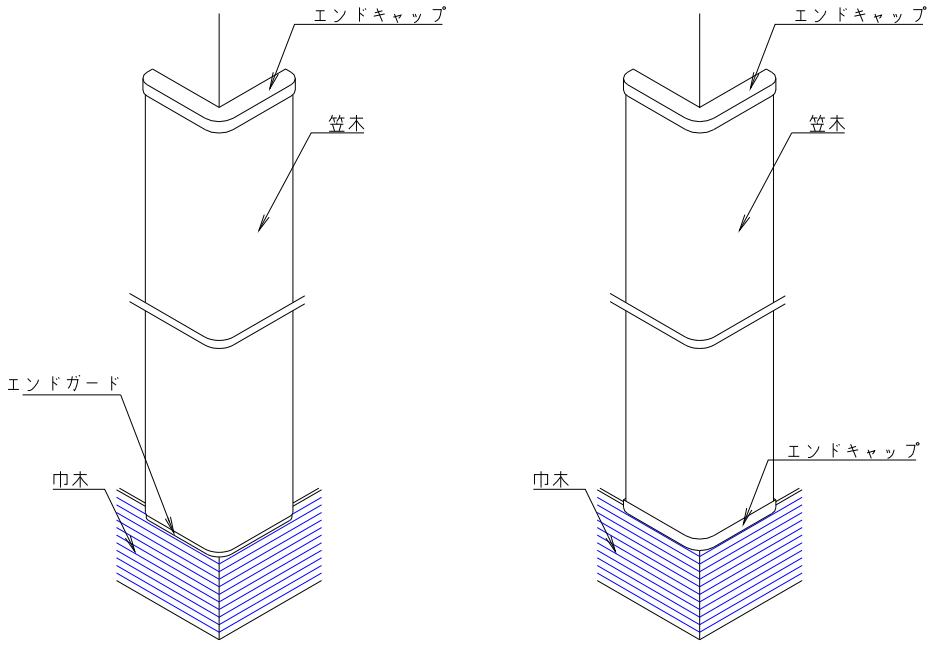
※　エンドキャップは嵌合式のため、無理をすれば取り外しが可能ですが、現場によって絶対に外れなくして欲しい等の要望があれば、エンドキャップとエンドガードを指定の瞬間接着剤で固定して下さい。

瞬間接着剤：㈱アルデコ　ＣＮ６

※　標準仕様はエンドキャップが上端だけですが、現場の要求によりオプションとして下端にもエンドキャップを取り付ける場合は、取付手順に注意してください。

・下端エンドガード固定時に、エンドキャップを指定の接着剤で必ず固定しておいてください。

・笠木は最初に下端エンドキャップへスライドで２．５mm飲み込ませてから、標準仕様と同じ施工手順で進めてください。



＜標準仕様＞　　＜オプション仕様＞

（９）清掃

笠木及びエンドキャップの表面をウエス等で清掃してください。

⚠　清掃にシンナー・トルエンは絶対に使用しないでください

（１０）自主検査

施工は以上で終了ですが、下表の項目について確認してください。

No	検査項目
1	笠木表面に傷、汚れはないか
2	接着剤が笠木表面等に付着していないか
3	笠木と笠木受けの嵌合が甘く、笠木は浮いていないか
4	笠木と壁面に隙間は発生していないか
5	エンドキャップの嵌合が甘くないか

（１１）施工完了

現場監督に確認してもらい、取扱説明書を渡して施工完了です。